

高田支部研修会：宇部興産専用道路走行及び勉強会～北九州門司のレトロ建築見学

平成 29 年度の支部研修見学会として、2/16～17 日の日程で山口県宇部市及び福岡県北九州市門司方面に参りました。新大阪より山陽新幹線にて新山口駅に到着。駅舎は真新しく工事中区画もありました。そして貸切バスにて、メインの研修会場である宇部興産専用道路へ向かいます。案内頂いたのは産業観光エスコーターで宇部興産OBでもある渡邊輝弘様。セメントの原料を積んだ 80 t 級のトレーラーが行き交う往復 4 車線の専用道路は約 30 km におよび、道中様々な興味深いお話しをして頂きました。宇部興産様は、創業者の渡邊祐策氏が明治 30 年炭鉱を創業、鉄工・セメント製造においても成長を遂げ、「有限の鉱業から無限の工業へ」を理念に、化学・医薬・エネルギー・環境分野などグローバルに展開し、地域と共に発展されています。最初の目的地であるトレーラー整備場に到着し、365 日稼働し生涯走行が 160 万 km にもおよび 6～8 年で役を終えるトレーラーのお話しなどに驚きつつ、一行は同社総合案内施設である UBE- i - Plaza へ... 建築士にとって身近な材料であるセメントの約 20% は廃棄物・副産物を利用していることに循環型社会への貢献度の高さを感じました。そして、宿泊先である下関入りし料亭〇〇にてフグ料理に舌鼓を打ちつつ、楽しい時間を共有することができました。翌朝は徒歩（関門トンネル）組とバス組に分かれ、門司の出光美術館を目指しました。こちらでは出光興産の歴史を学び創業者の美術コレクションで目を養った後、門司赤煉瓦プレイスへと向かいます。近代化産業遺産のレンガ造建築群が改修され見事な観光スポットに生まれ変わっており、我々建築に関わる者としても大いに刺激になりました。そして、地方卸売市場としては全国的にも珍しい直接販売形態をとる唐戸市場に場所を移します。一般の人でも自由に鮮魚を買い求めたり、味わったりすることができ活気に満ちていました。また、屋根のストラクチャーは PC とトラスのハイブリッド構造で市場のイメージを覆すダイナミックな空間を実現させていました。全ての研修を予定通り終え、新下関駅を無事立つことができました。今回の研修旅行に於いて会員間の親睦を図る事ができ、また建築士業務に繋がる研修・見学であったと思います。企画準備、お世話頂いたすべての方々、大変お世話になりました。改めて感謝を申し上げます。

